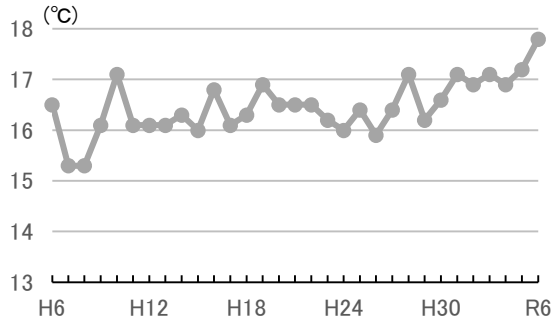
第１節　地球温暖化

１　地球温暖化の現状

本市の日平均気温は、図表 6-1-1 のとおり、近年はやや上昇しています。

大手事業所などの特定排出者や市では、温暖化の一因となっている温室効果ガスの排出量の把握と排出削減に取り組んでいます。

■図表 6-1-1　本市の日平均気温の推移

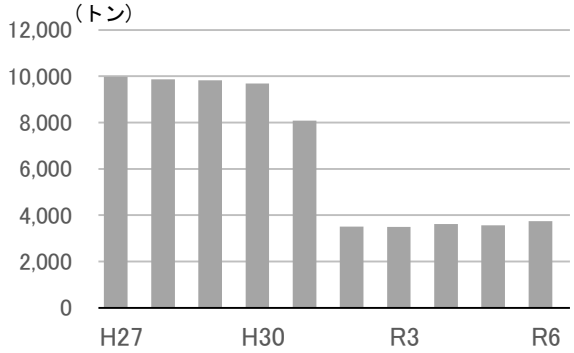


〔資料：気象庁ホームページ〕

２　大竹市地球温暖化対策実行計画

市では「大竹市地球温暖化対策実行計画」を策定し、二酸化炭素排出量の削減に取り組んでいます（図表 6-1-2）。

■図表 6-1-2　本市の業務に関連した二酸化炭素排出量の推移（公益事業を含む）



第２節　資源循環

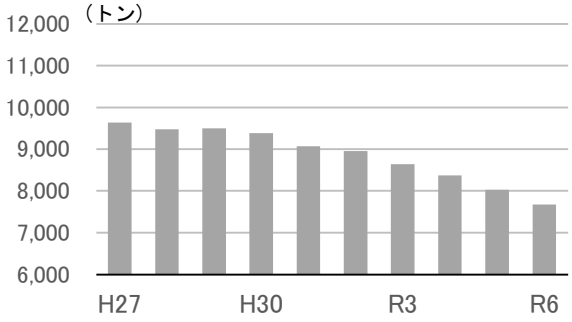
１　廃棄物

令和 6（2024）年度のごみの総排出量は、7,674t となっています。（図表 6-2-1）

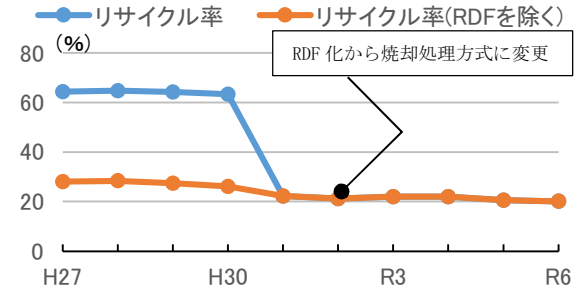
可燃ごみは、廿日市市と共同で整備した廿日市市内の廃棄物処理施設で処理し、その他のごみはできる限り資源化しています。本市のリサイクル率（図表 6-2-2）は令和 6（2024）年度が 20.1％であり、令和 6（2024）年度の全国平均 19.3％（環境省 一般廃棄物処理実態調査結果）を上回っています。

なお、ごみとし尿の処理量は、図表 6-2-3 のとおりです。

■図表 6-2-1　ごみ総排出量の推移



■図表 6-2-2　リサイクル率の推移



■図表 6-2-3　ごみとし尿の処理量

ごみ排出量	家庭系	4,872t/年
	事業系	2,279t/年
資源回収団体の回収量		523t/年
し尿処理量		3,175kL/年 （和木町分 545kL/年）

２　省資源・省エネルギー・新エネルギー

冷暖房機の使用抑制、職員によるエレベーター使用の自粛等によるエネルギー使用量の削減や、紙資源の再利用、文書の電子データ化等による廃棄物の削減などにより、業務の遂行や事業の実施に伴う温室効果ガスの排出抑制に取り組みました。

また、市が所有する公共施設において、太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入の検討、照明等の LED 化などを実施し、環境負荷の低減に努めました。